

道

2023年7月1日
(第98号)



小田川

前回、尿漏れについて書いたら、読者から、実は私もそうだ、誰にも言えない、読んでほっとした、というような声が寄せられた。そこで、調子にのって、「便も漏れる」。

▼その日、Mさんは車で三〇分ほどかかる病院に向かう途中でお腹の調子がおかしくなった。コンビニのトイレに寄ろうかとも思ったが、病院まで我慢することにした。この日は病院の駐車場がとても混んでいた。お腹のゴロゴロは病院のトイレまではもたないぞと訴えた。やむ無く近くの公営建物のトイレをめざす。玄関に入り、ズボンのベルトに手をかけた、その時、堰が切れた。あああ。止まらない。下痢便が尻から足の方に流れていくのを感じつつ、トイレに駆け込んだ。混乱し途方にくれながら、その後、どうなったかはもう書かない。強い恥の意識が体中を巡っていた。▼母が亡くなる少し前の頃、トイレへの通路に点々と垂れた下痢便でたいそう気落ちしていた母の姿を思い出す。これは恥ずかしいことなのか。便漏れも尿漏れも「老化」のなせること。古い衰える過程で誰にでもあることだ。その、ありのままの姿を優しく包み込むような、そんな関わり方はできないだろうか。▼「おれ、もらしちやったよ」、「あっ、そう、じゃ、ちよっと、てつだう」、「におうし、きたないよ」、「そうね、でも、だいじょうぶ、はい、それぬいで」。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp

林道也



遠田
椋の木

▼この通信は、〈道〉LINE(公式アカウント)でも配信します。URL、または、左の QR コードから「友だち追加」していただければ、あなたの LINE に届きます。▼ホームページにも掲載しています。